

令和5年度

『県中医療圏退院調整ルール』の
ケアマネジャーへのアンケート
調査結果

ケアマネ 編



アンケート実施期間：R5.8.1～8.23

◇調査対象事業所数

- ・居宅介護支援事業所:127カ所
- ・小規模多機能型居宅介護事業所:45カ所
- ・地域包括支援センター:31カ所

◇回答事業所数(回答率)

- ・居宅介護支援事業所:114カ所(89.8%)
- ・小規模多機能型居宅介護事業所:36カ所(80.0%)
- ・地域包括支援センター:27カ所(87.1%)

アンケート1

「県中医療圏退院調整ルール」の運用 状況に関するアンケート結果

◇ケアマネ回答人数

- ・居宅介護支援事業所: 370人
- ・小規模多機能型居宅介護事業所: 38人
- ・地域包括支援センター: 122人

令和5年7月の退院患者について

要介護の退院患者：201人

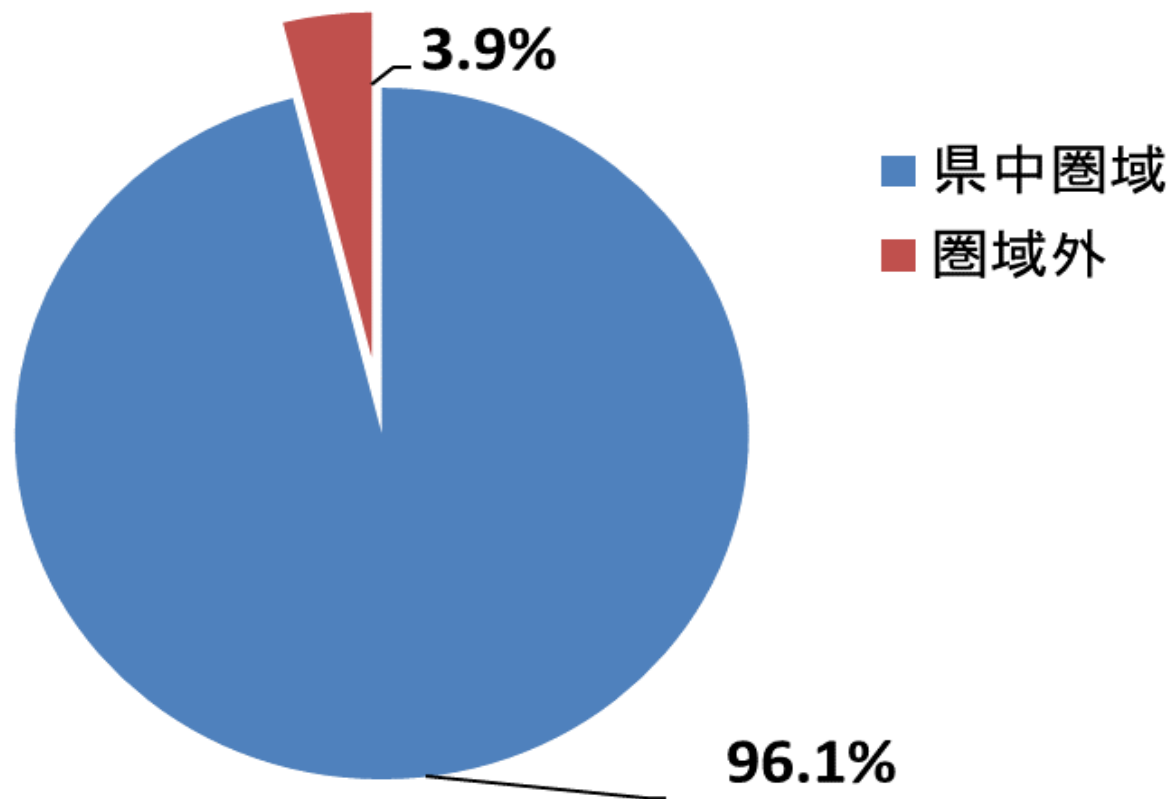
要支援の退院患者：70人

計：271人

【参考】調査月の退院患者数（単位：人）

	平成27年 5月	平成28年 8月	平成29年 1月	平成29年 8月	平成30年 1月	平成30年 8月	令和元年 8月	令和2年 8月	令和3年 7月	令和4年 7月	令和5年 7月
要介護	258	263	246	245	197	220	251	243	236	185	201
要支援	46	71	48	56	68	68	63	57	59	46	70
計	304	334	294	301	265	288	314	300	295	231	271

図1：令和5年7月の退院患者の入院先



県中地域の入院はほぼ**圏域**で完結！

図2: 令和5年7月の退院患者の入院先内訳

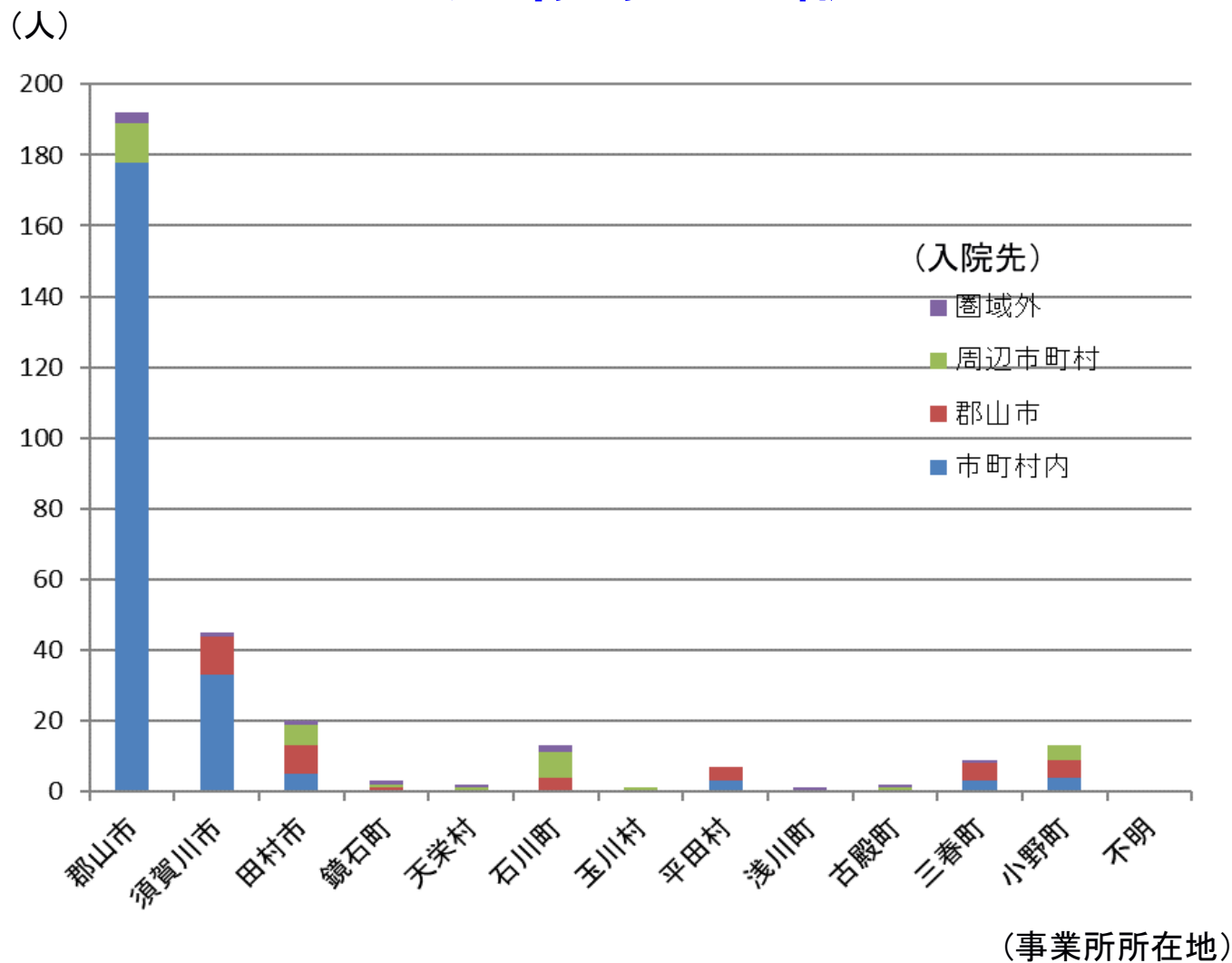
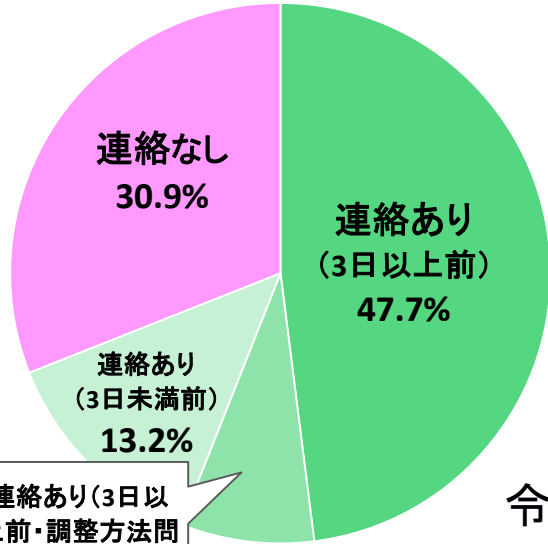


図3：病院からの退院調整の連絡

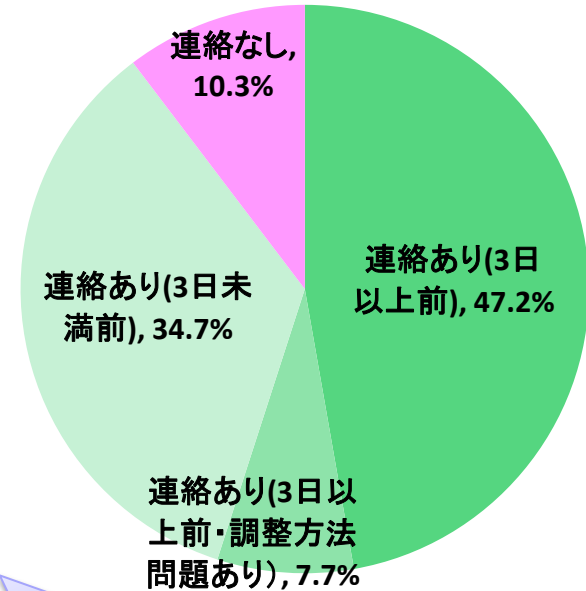
《平成27年5月～令和5年7月の比較》

(要介護＋要支援)

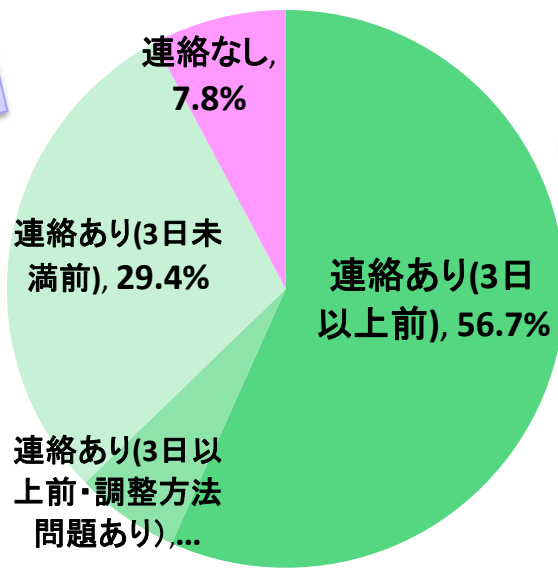
平成27年5月



令和5年7月



令和4年7月



連絡あり(3日以上前・調整方法問題あり)8.2%

連絡あり(3日以上前・調整方法問題あり)...

図4：県中圏域の退院調整率

《平成27年5月～令和5年7月の比較》

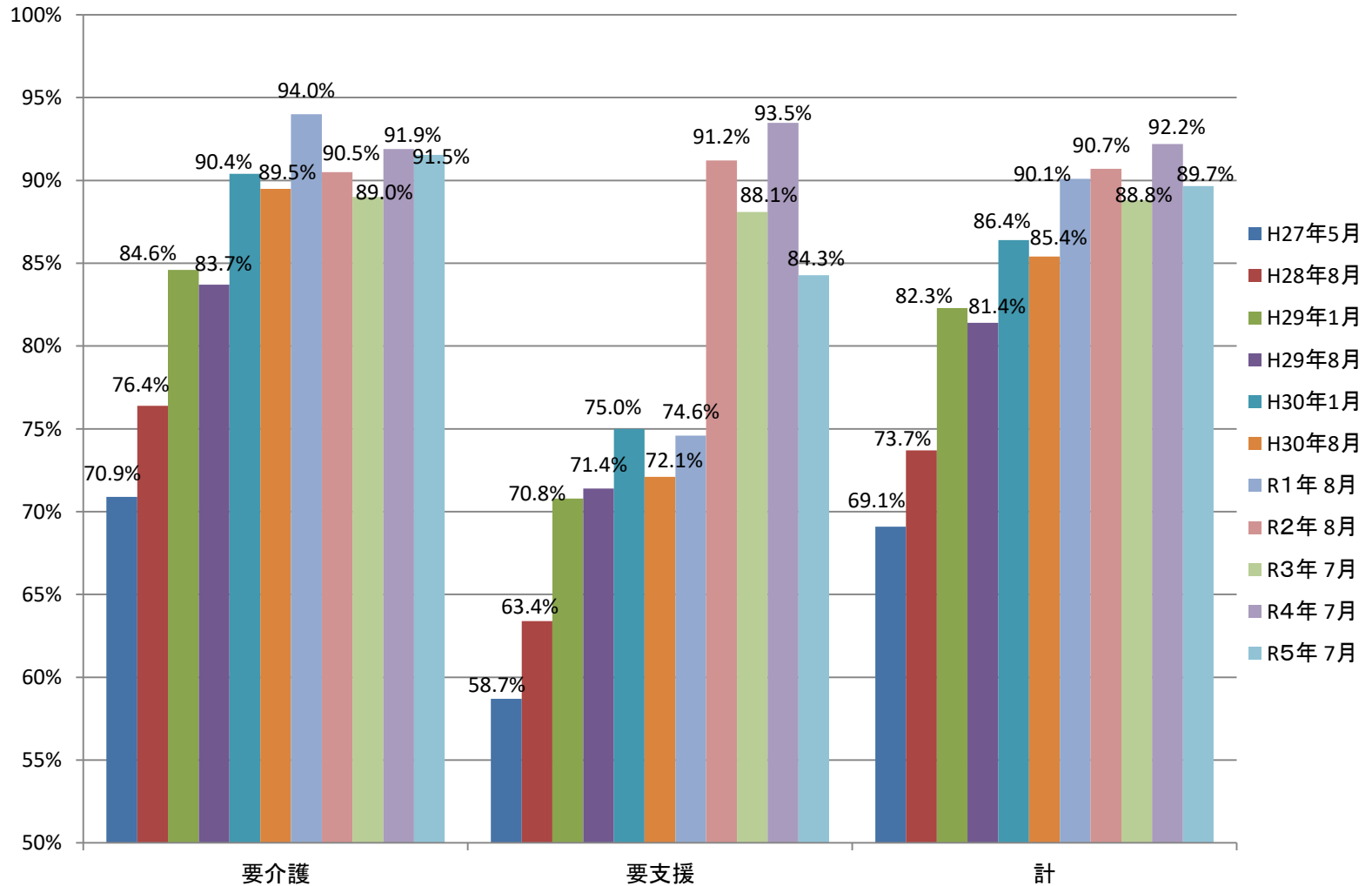


図4-1: 退院調整率の推移

	要介護	要支援	計	H27年との比較
H27年5月	70.9%	58.7%	69.1%	
H28年8月	76.4%	63.4%	73.7%	+4.6%
H29年1月	84.6%	70.8%	82.3%	+13.2%
H29年8月	83.7%	71.4%	81.4%	+12.3%
H30年1月	90.4%	75.0%	86.4%	+17.3%
H30年8月	89.5%	72.1%	85.4%	+16.3%
R1年 8月	94.0%	74.6%	90.1%	+21.0%
R2年 8月	90.5%	91.2%	90.7%	+21.6%
R3年 7月	89.0%	88.1%	88.8%	+19.7%
R4年 7月	91.9%	93.5%	92.2%	+23.1%
R5年 7月	91.5%	84.3%	89.7%	+20.6%

図4-2: 圏域外の退院調整率

(人)

	入院した圏域	R5. 7月中に退院した患者数	調整あり	退院調整率	調整あり (3日以上)	調整あり (3日未満)
要介護者	県北	1	1	100.0%	0	1
	県南	4	4	100.0%	2	2
	会津	1	0	0.0%	0	0
	県外	1	1	100.0%	1	0
	計	7	6	85.7%	3	3
要支援者	県北	3	1	33.3%	1	0
	県南	2	2	100.0%	2	0
	計	5	3	60.0%	3	0
合計	県北	4	2	33.3%	1	0
	県南	6	6	100.0%	4	2
	会津	1	0	0.0%	0	0
	県外	1	1	100.0%	1	0
	計	12	9	75.0%	6	2

図5：病院別比較（令和5年7月）

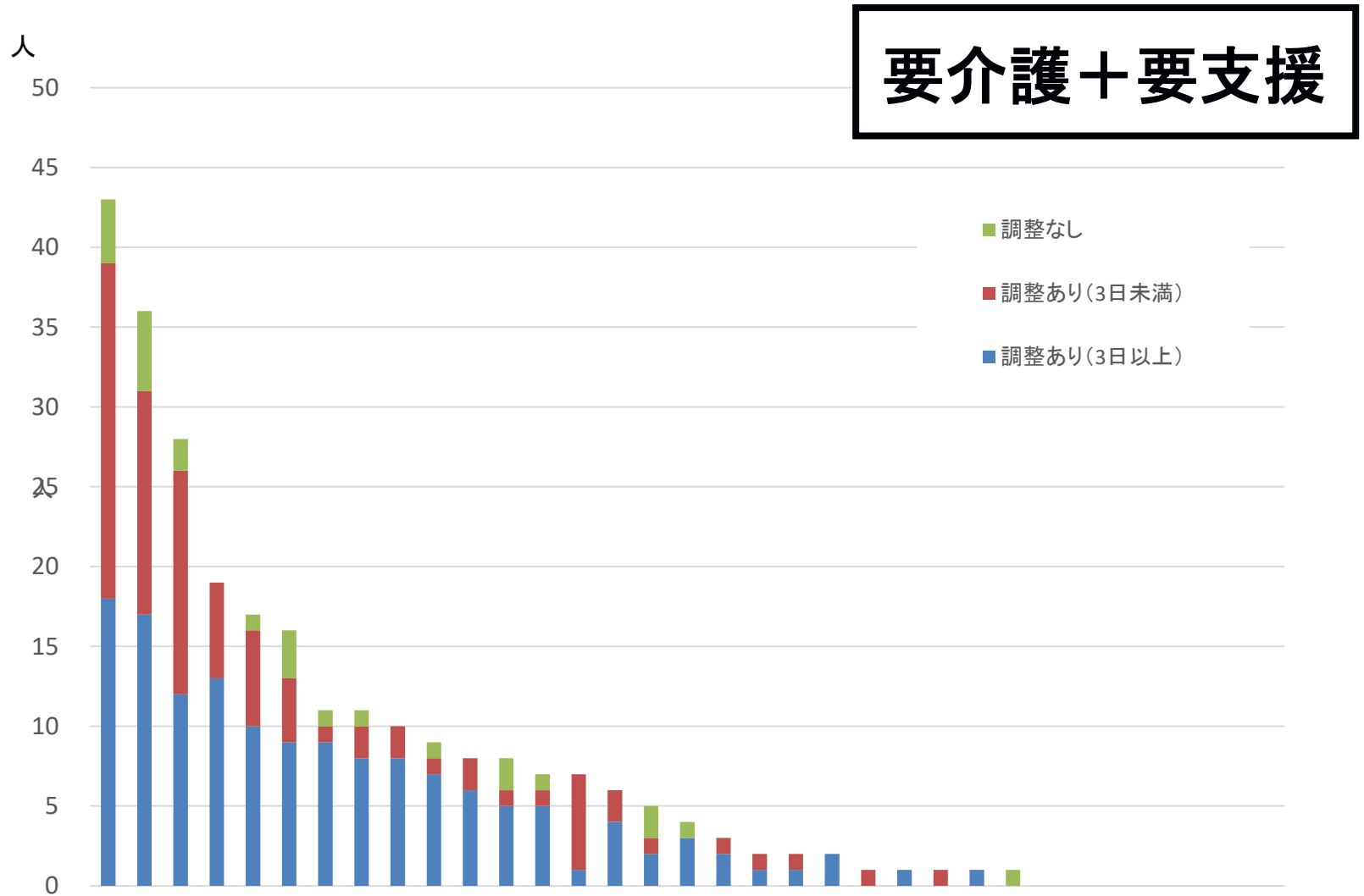


図5-1：病院別比較(令和5年7月)

要介護

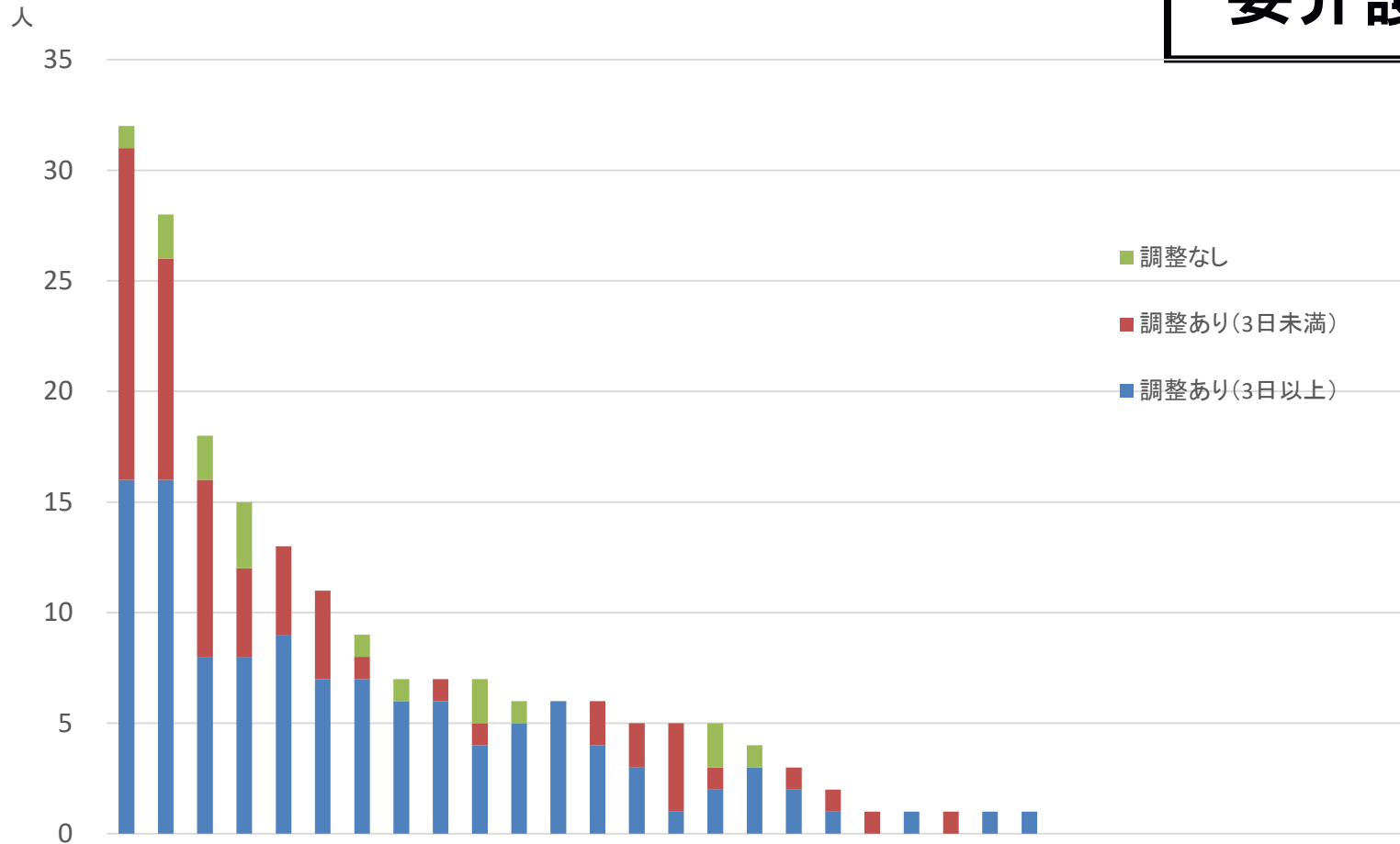


図5-2: 病院別比較(令和5年7月)

要支援

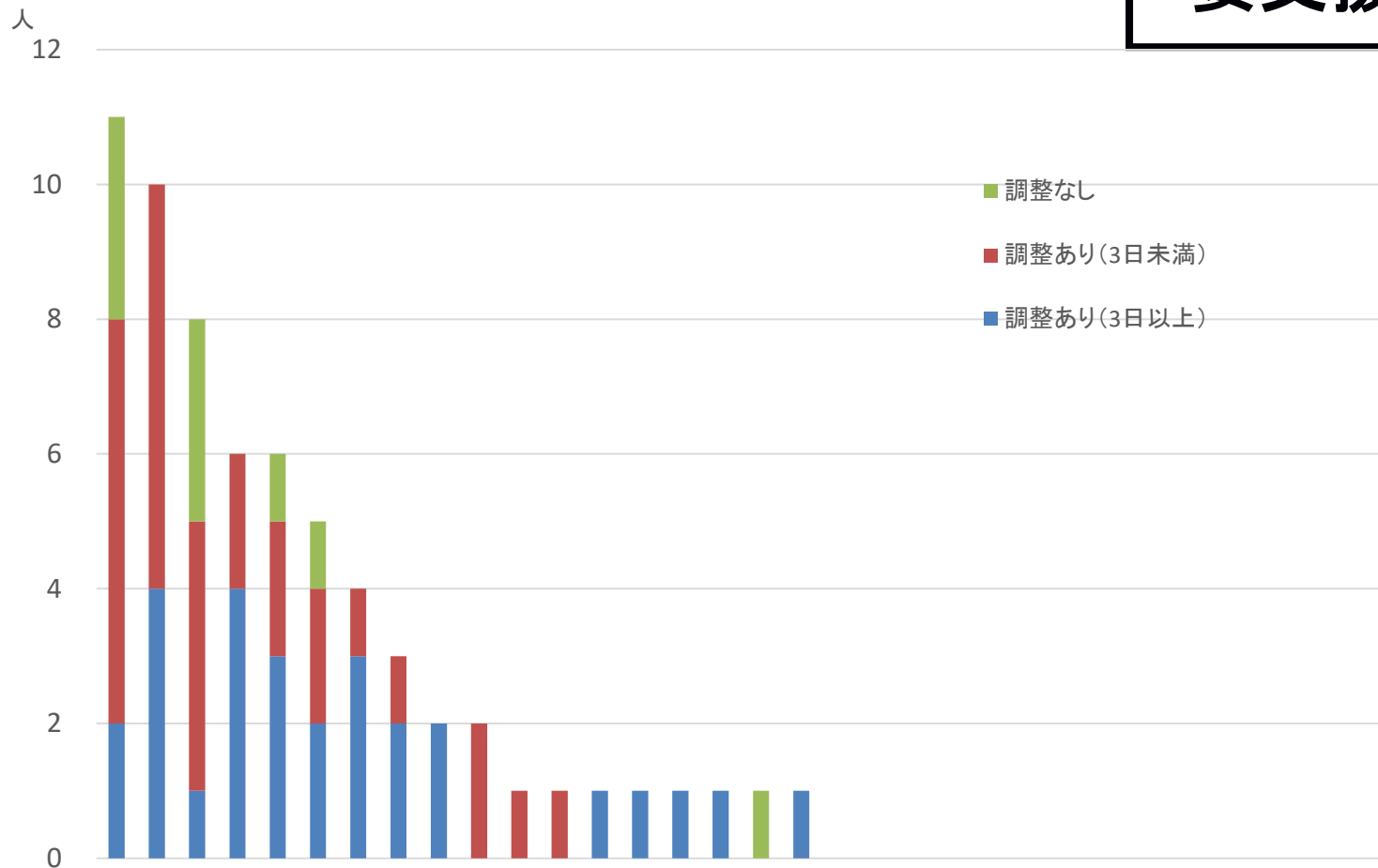


図6:担当利用者の入院数
(平成27年5月～令和5年7月)

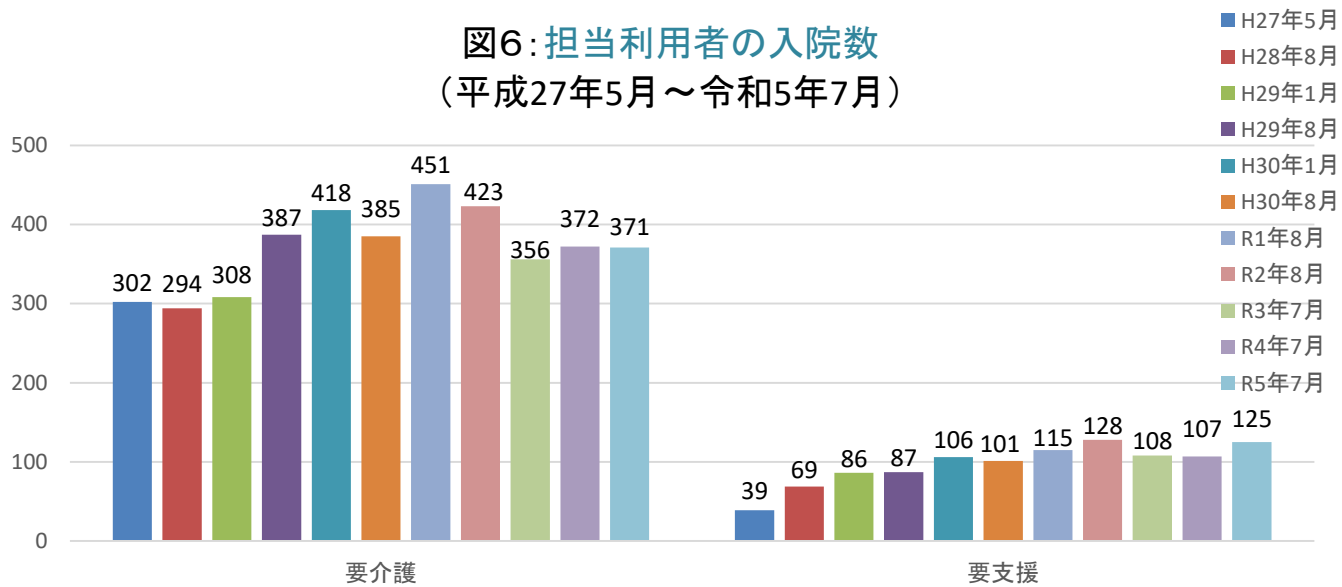
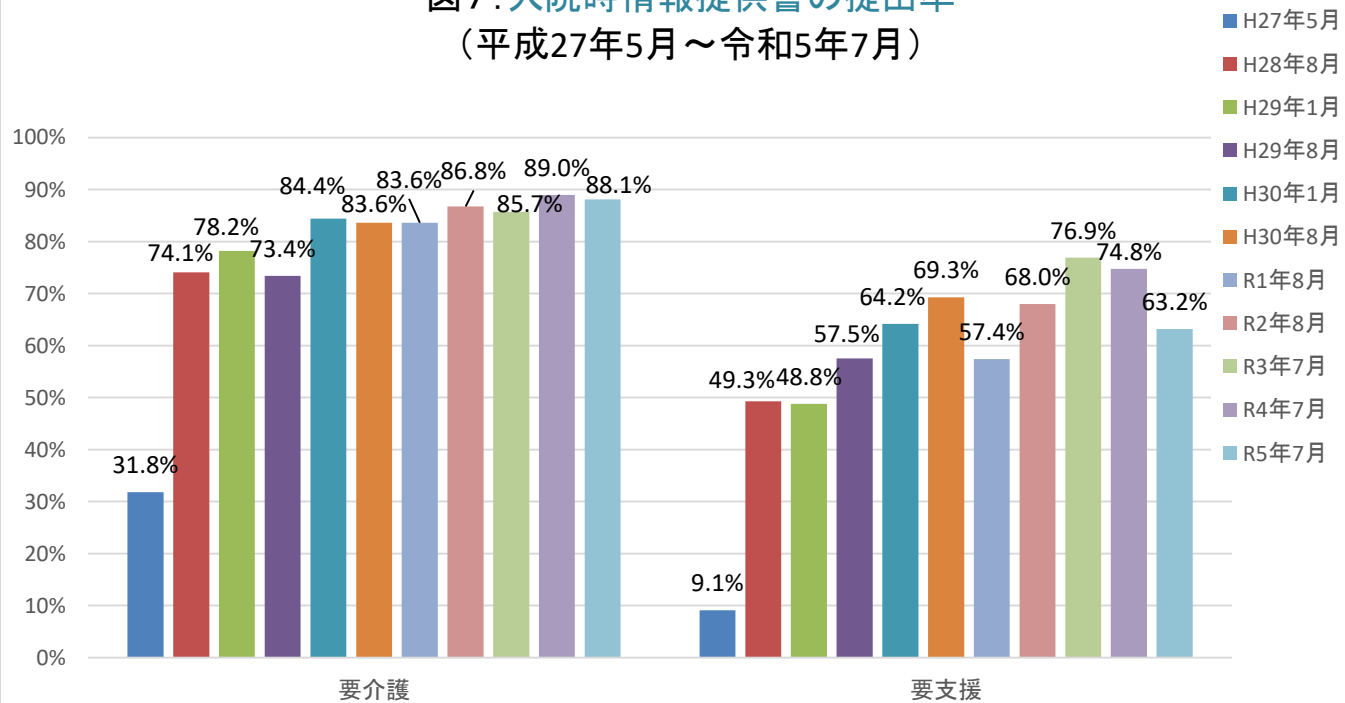


図7:入院時情報提供書の提出率
(平成27年5月～令和5年7月)



アンケート1のまとめ

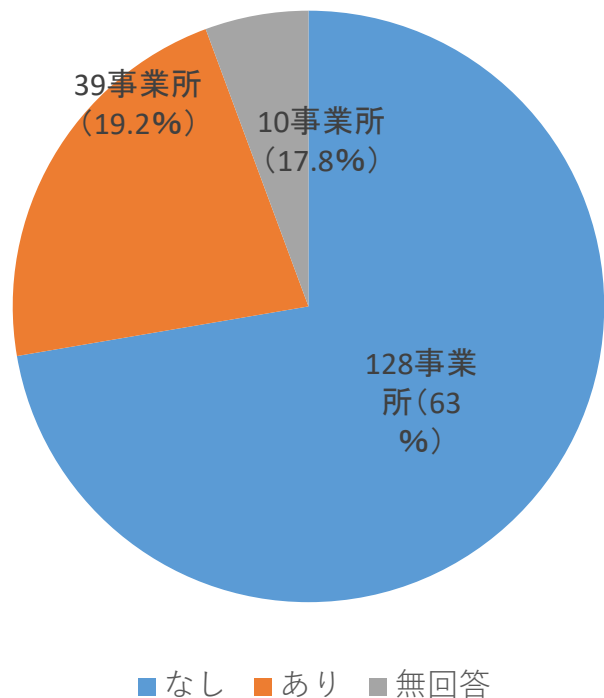
- ◆ 県中圏域の入院は**県中圏域内**でほぼ完結 (図1)
- ◆ 県中圏域の**退院調整率**は、**89.7%**
(要介護**91.5%**、要支援**84.3%**)
前年度調査と比較し、**2.5ポイント減**、
ルール策定前と比較し、**20.6ポイント改善** (図4)
- ◆ 県中圏域の**入院時情報提供書の提出率**は、
要介護**88.1%**、要支援**63.2%**
前年度調査と比較し、
要介護は、**0.9ポイント減**、
要支援は、**11.6ポイント減**。
ルール策定前と比較し、
要介護は**56.3ポイント**、
要支援は**54.1ポイント改善** (図7)

- I 退院調整ルール及び入院時情報提供シート、退院調整共有情報について
- II 運用評価会議（病院等・ケアマネ合同会議）のあり方について

上記について、ケアマネジャーの皆さんに記載していただきました。

I 退院調整ルール及び入院時情報提供シート、退院調整共有情報について

質問1：現在のルールやシート、共有情報の内容について改善を要するところがありますか？



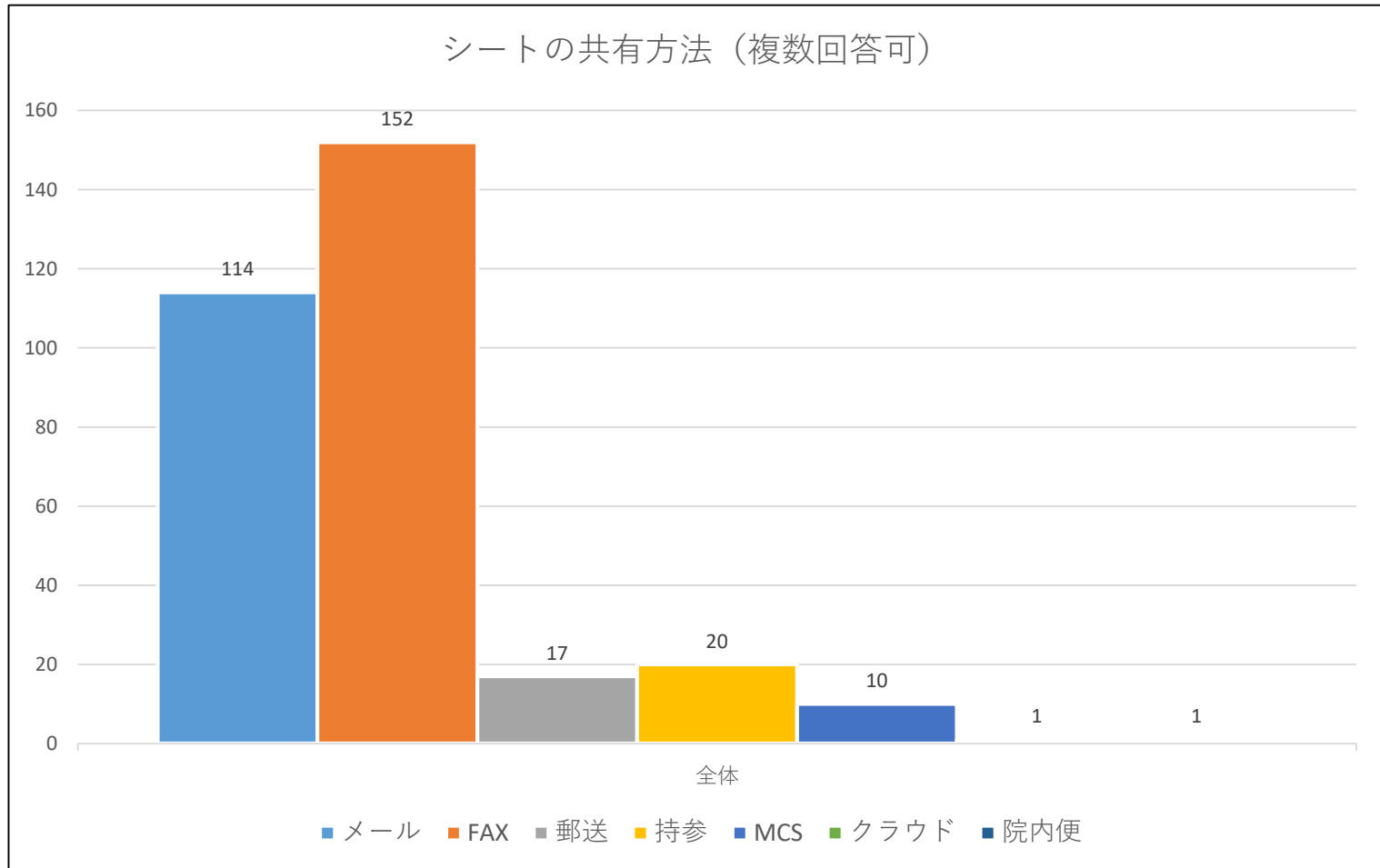
※事業所ごとに集計

◆改善を要すること（複数名より回答あり）

- 様式に関すること。
（入力しづらい、文字が小さい、印刷するとずれる等）
- 院内で退院調整ルールが共有されていない病院がある。
- 退院調整共有情報（参考様式）に退院後のサービス調整に必要な情報が足りない。
- 退院の情報は早めに頂きたい。

I 退院調整ルール及び入院時情報提供シート、退院調整共有情報について

質問2：情報提供シート等の共有方法について



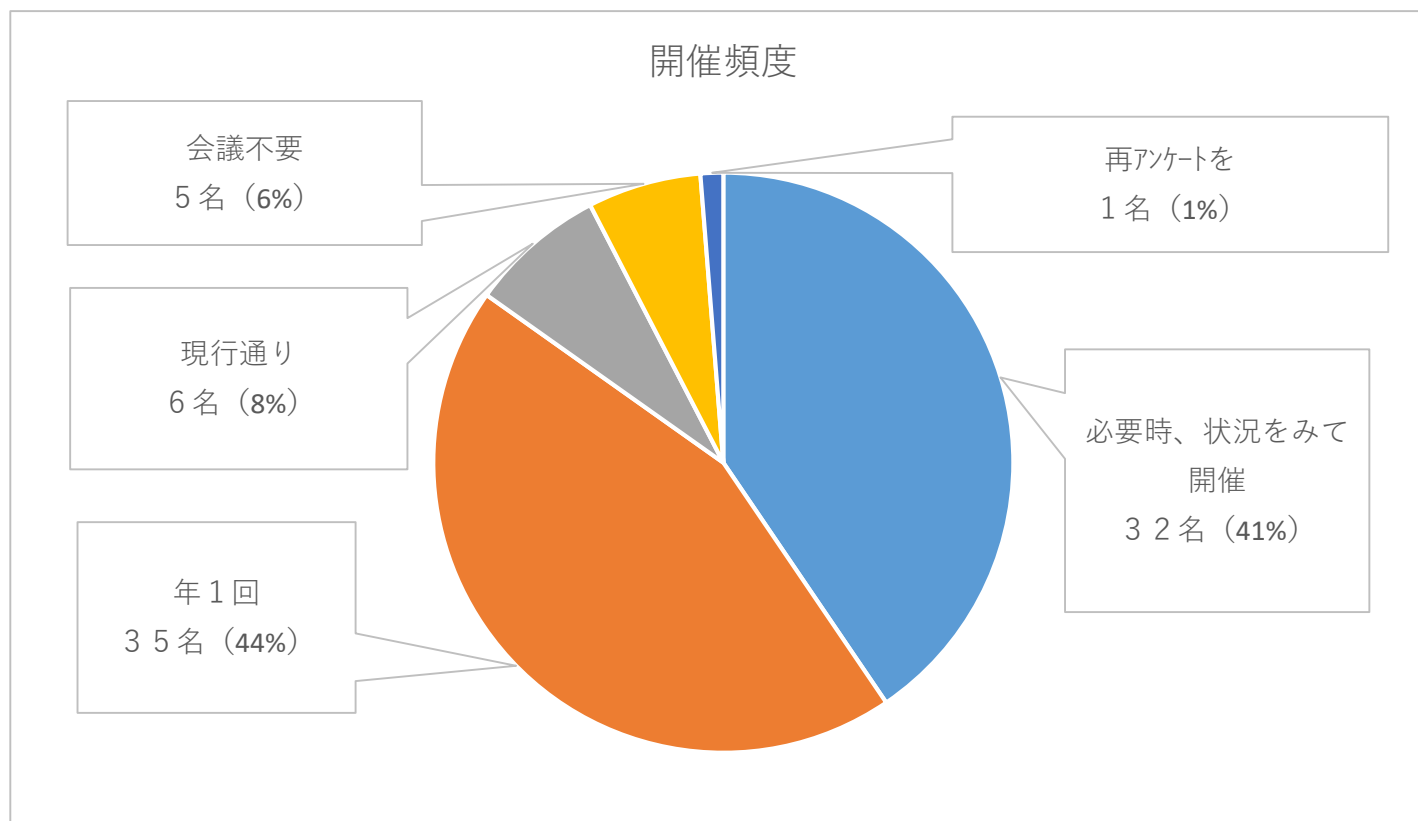
・所属ごとの集計。

・MCS:メディカルケアステーション。地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツール。

Ⅱ 運用評価会議(病院等・ケアマネ合同会議)のあり方について

質問3：開催回数や時期、招集メンバー等についての意見・要望等がありましたら、ご記入ください。

結果① 開催頻度について(回答者数79名)



※開催頻度について回答した79名の内訳。。

Ⅱ 運用評価会議(病院等・ケアマネ合同会議)のあり方について

質問3：開催回数や時期、招集メンバー等についての意見・要望等がありましたら、ご記入ください。

結果② 招集メンバーについて

- 病院の看護師の出席だけでなく、調整役であるソーシャルワーカーにも出席してもらった方が良いと思う。
- 先ずは病院関係者とケアマネ代表者等の少人数で開催。
- 介護医療（MSW、退院調整NS、医師会関係者）の参加が望ましい。
- 市町村ごとなど地域によって実情が違ふと思うのでもう少し小さい単位で開催した方がよい。

結果③ その他

- 開催方法：対面、Zoom、ハイブリッド形式
- 会議開催はなくて良い。書面報告等で良い。
- 問題なく運用できているので、評価会議はしばらくは不要。
- 内容の再確認や共有事項・訂正箇所などが明確化出来る事と新しい職員が入職した場合、周知することが出来るため開催した方がよい。